

小山市立博物館

博物館だより

2013
9.15

57

小山市立博物館 開館30周年記念 第62回企画展

そら 宇宙と人の物語

平成25年10月5日(土)～12月8日(日)

開館時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料	大人200(100)円、大学・高校生100(50)円、小・中学生無料 ※()内団体料金
休館日	10/7・15・21・25・28、11/11・18・22・25、12/2



安井算哲(洪川春海)設計渾天儀
(日光東照宮宝物館蔵)

小山市立博物館では、平成18年度より天体望遠鏡搭載車『ほっしー★OYAMA号』を導入し、毎月の天体観望会や小学校での天文教室などを実施しています。今回、昭和58年の開館から30周年を迎えるにあたり、この天文事業に関連した特別展を開催します。この展示では宇宙と人との深く多様な関わりを、隕石鉱物、古墳時代の出土遺物、江戸時代の天体観測、暮らしの中に浸透する民俗事象、さらには最新の宇宙科学に関する資料まで、様々な角度から紹介します。



重要文化財
国友一貫斎作反射望遠鏡
(上田市立博物館蔵)

記念講演会 宇宙への挑戦と最新の宇宙像 ～138億光年の彼方から「はやぶさ2」まで～

日時 11月2日(土) 13:30～15:00

場所 白鷗大学東キャンパス白鷗ホール(小山駅東口)

講師 JAXA宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授
はやぶさ2ミッションマネージャ 吉川 真氏

※お申し込みは電話かハガキまたはFAXにて住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。先着500名。

お申込みいただいた方には整理券をお送りします。

※参加費は無料です。駐車場はございませんので公共交通機関でご来場ください。



イプシロンロケットイメージ
(展示品は模型) ©JAXA

「はやぶさ」が撮影した地球 ©JAXA

関連講座

子ども科学教室 場所：博物館

- ①望遠鏡をつくろう 10月27日(日) 9:30～11:30 小学校4年生以上 定員15名
- ②冷たい世界(液体窒素実験) 12月7日(土) 9:30～11:30 小学生以上(1・2年生は保護者同伴) 定員30名

博物館めぐり 集合場所：市役所又は博物館

筑波宇宙センターロケットコース解説付き見学 11月30日(土) 定員40名(小学生以下は保護者同伴)

※必ずハガキにてお申し込みください。(参加者全員の氏名・郵便番号・住所・電話番号、博物館めぐりは希望の集合場所) 応募者多数の場合は抽選となります。

ラムサール条約湿地登録1周年記念 夏休み特別展

「再発見！渡良瀬遊水地

～豊かな自然と人とのかかわり～」を終えて

小山市を含めた4県4市2町にまたがる「渡良瀬遊水地」がラムサール条約湿地に登録されてから1周年を迎え、小山市立博物館では7月20日～9月1日まで、これを記念した特別展「再発見！渡良瀬遊水地～豊かな自然と人とのかかわり～」を開催しました。洪水時に周辺地域や首都圏への影響を調節する重要な役割を担っている渡良瀬遊水地ですが、今回の展示では、「貴重な湿地環境としての渡良瀬遊水地」にスポットをあて、50を超える野鳥の剥製をはじめたくさんの動植物の標本や写真を展示し、遊水地に生息する貴重な動植物を中心に、そこを利用してきた人々とのかかわりや湿地の保全・再生への取り組みについて紹介しました。

夏休みということもあって親子連れも多く、たくさんの方にご来館いただき、遊水地の持つ魅力について感じていただくことができました。今回の展示を通して、渡良瀬遊水地についてより関心を持っていただくとともに、新しい発見を持ち帰っていただくことができたのではないかと思います。



展示風景

「小山で生まれたアイヌコタンの医師高橋房次」を終えて

今春に開催した第61回企画展「小山で生まれたアイヌコタンの医師 高橋房次」展が終了しました。北海道白老町でその死後50年経ってなお町民に愛され続ける小山出身の医師高橋房次の生涯を展示し、彼と深く関わったアイヌの人びとの生活や伝統文化もあわせて紹介したものです。高橋医師の存在を初めて知り、彼の生き様に深く感銘を受けたという声が来館者から多く聞かれ、この展示を通して小山でも彼の存在を広く認識していただくことができました。

期間中開催した記念講演会やアイヌ文化を体験する関連講座にもたくさんのご参加をいただき、関心のある方が予想以上に多くいることに驚かされました。県内はもとより、遠く北海道からもさまざまな反響をいただき、好評のうちに展示を終了することができました。



展示風景



アイヌ伝統文化刺繍教室



アイヌ伝統楽器ムツクリ体験教室

コラム 博物館職員雑記帳

親ばか日記 Part 1

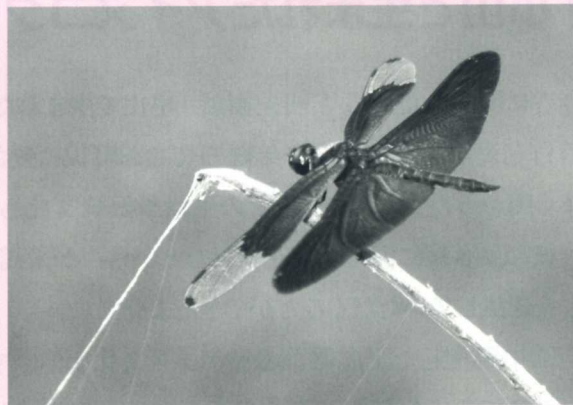
指導主事 早川俊夫

小3の頃から学童野球を始めた颯一郎(我が家の長男)、小5の秋の新人戦からは主力となりました。所属チームは人数も少なく、5年生から1年生まで合わせて12人のチームです。そのため、大会に出場しても、練習試合をしても、ほとんど勝てません。秋の新人戦の初戦の相手は夏の大会で県の上位まで進んだチームでした。結果は「0対26」の大差でのコールド負けでした。あまりの大差に選手は、試合中から完全に落ち込みムードです。試合の後、早川が颯にかけた言葉は…。「おい、颯！おっまえすごかったな！だってさあ…」でした。それは、20点以上も差がついて選手が皆へこんでチームのムードも最悪な中で彼は、「ワンナウト！ワンナウトー！」とものすごい大きな声を出して守備についてました。大差で負けているときに大きな声を出して頑張るといのはなかなかできるものじゃありません。彼の姿に涙が出る思いでした。この彼の姿から、「苦しい時、不安な時、そんな時にこそ、顔を上げてしっかり前を向いてがんばることが大切」ということをあらためて感じました。学校現場から異動して4ヶ月。まだまだ現場への未練はありますが、博物館での仕事の楽しさも感じるようになりました。今は、この立場を前向きに捉えて尽力したいと思います。颯を見習って！「おい、颯！おまえのおかげだ。ありがとな！」



季節の一枚 「チョウトンボ」

渡良瀬遊水地に隣接する旧思川河川の「親水公園」には、毎年6月から8月にかけて、黒紫色の羽を持つトンボが優雅な舞を見せてくれます。飛んでいるときには、まるでチョウを感じさせるような飛び方です。ゆっくりと飛んでいるので、すぐにキャッチできそうですが、ネットが届くところまでなかなか下りてきません。最近、水辺の環境の変化のせいか、全国的に数が減っています。小山市では、渡良瀬遊水地やその周辺でしか生息が確認されていません。



毎月第2土曜日 生井公民館で実施中！

平成25年度 後期観望会の見どころ

毎月第2土曜日に定例観望会を開催しています。昼間は博物館駐車場で太陽観測を行い、夜は生井公民館で季節ごとに見られる星座や星の観測を行います。これからの季節は比較的天候もよく、空気も澄んできますので、星の観測には最高の時期となります。見どころといえば、なんと言っても「木星」でしょう。太陽系最大の惑星である木星が、秋から冬にかけて観測シーズンに入ります。『ほっしー★OYAMA』号搭載の望遠鏡をのぞいてみましょう。そこには、なんと、木星の縞模様まで映っているはずですよ。観望会の会場では、「なぜ木星に縞模様があるのか。」の解説もしています。次に「月」をのぞいてみましょう。月表面のクレーターまで、はっきりと見えるはずですよ。もしかしたら、うさぎまで見えるかも？ 月表面の神秘的な風景を見たら、きっと「来て良かった！」と思うはずですよ。ぜひ多くの方々に見に来ていただきたいです。また、冬になると星たちは一層輝きを増します。木星や月以外にもオリオン座やすばる（プレアデス星団）などの有名な星座や星団なども見ることができます。冬の夜空の星座の大きさは、感動ものですよ。月に一度の夜のひととき、どうぞご家族で夜空を眺めてみてください。

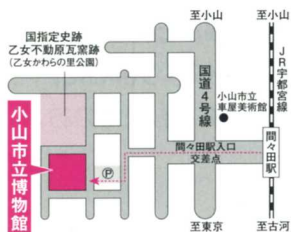


寄贈者芳名(平成25年4月～8月)

次の方々から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- 小林 岩男(小山市) 小山町案内 孟子一 論語四 中庸全 計4冊
- 志田 仁作(小山市) 行燈 燈明皿 油差し 皿 柄鏡 鏡台 提重 箱枕 計10点

博物館ボランティア・天体ボランティア募集中!!



発行年月日 平成25年9月15日
 発行 小山市立博物館
 〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7 (JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)
 電話 (0285) 45-5331 FAX (0285) 45-5247
 P <http://www.city.oyama.tochigi.jp/kyoikuinkai/hakubutukan/>
 印刷 株式会社ダイサン小山